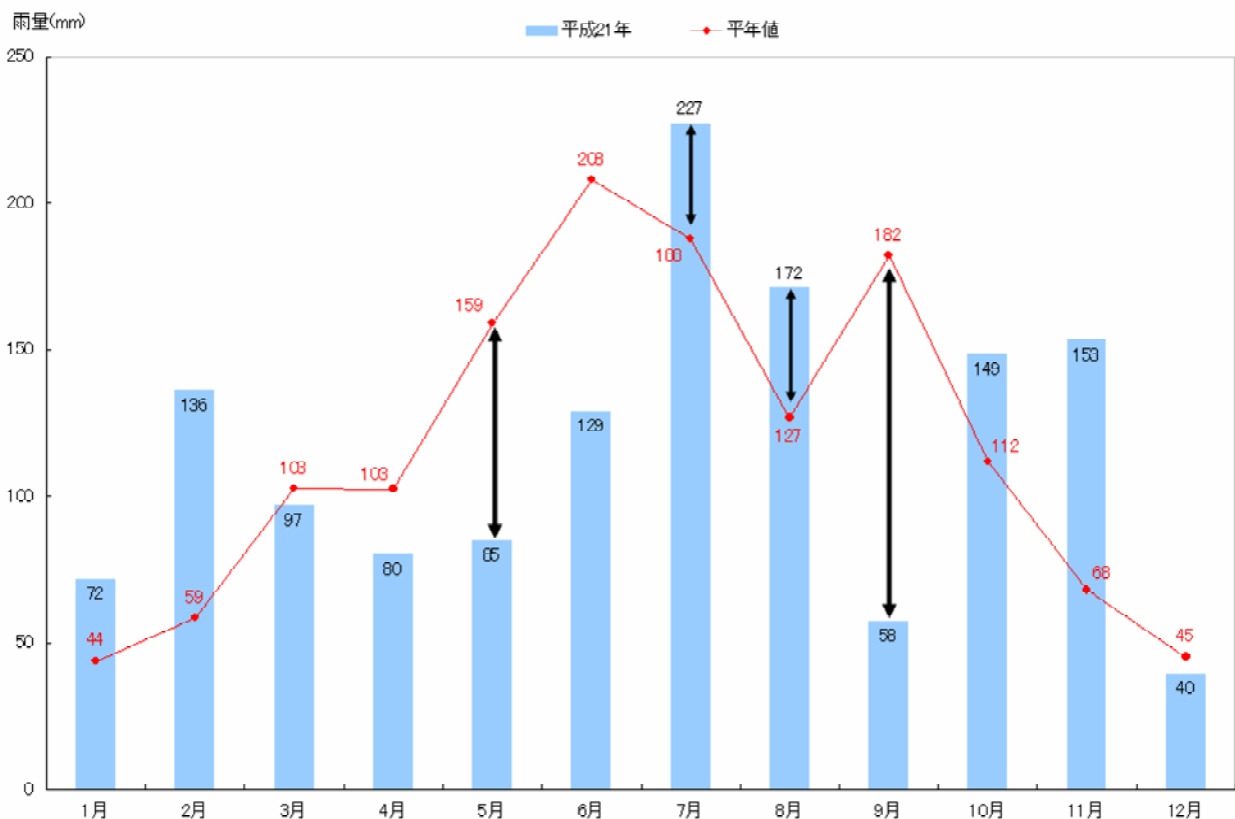


ものしりメモ（第23話）

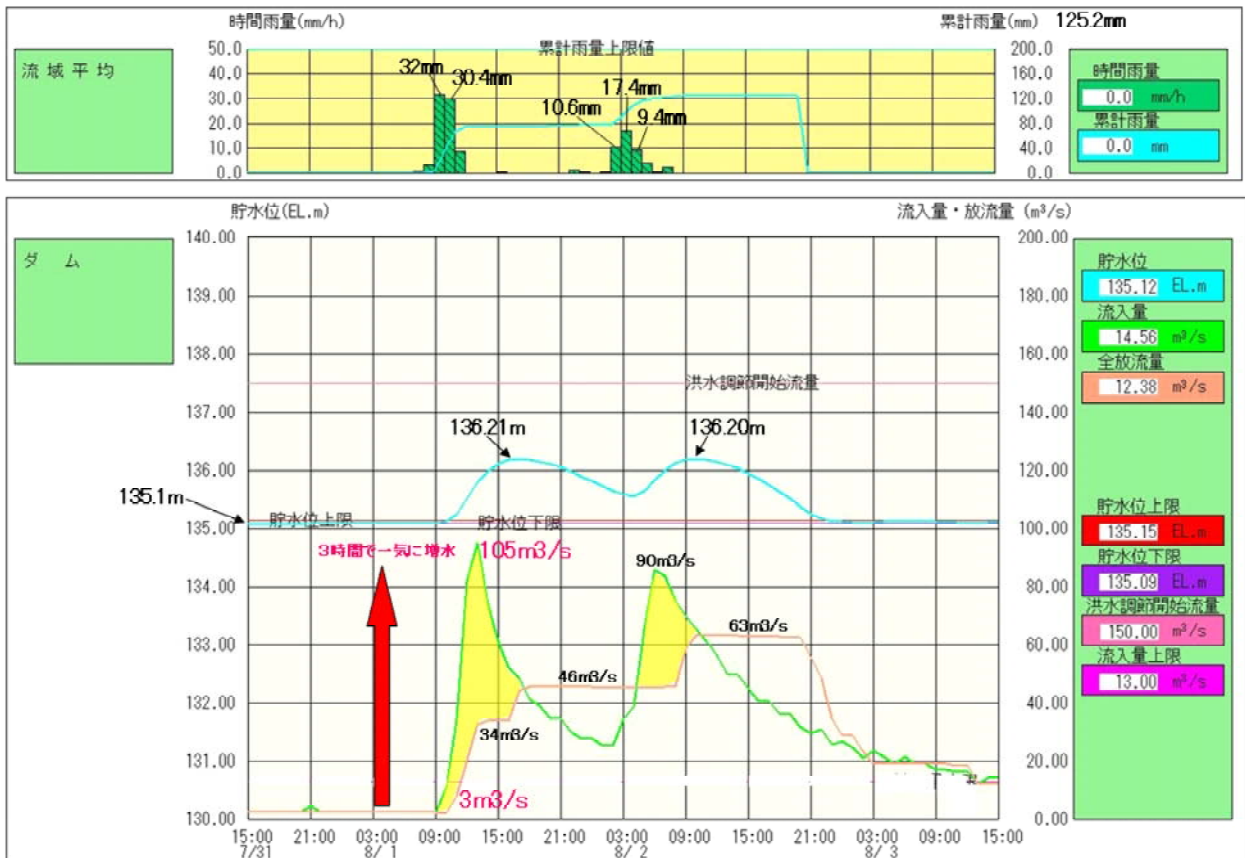
【ゲリラ降雨と日照りの平成21年～一庫ダムの降雨記録を振り返って～】

- ① 地球温暖化の影響で、気温や水温、降水量が変化し、平年どおりの雨の降り方をすることが少なくなり、極端に少なかったり、集中豪雨になったり、長雨になったりすることが増える（気候の極端化（きょくたんか））とされています。
- ② 一庫ダムの平成21年の降雨記録を振り返ってみると、確かに今年の雨の降り方は極端でした。
- ③ 月別上流域平均降雨量では、5月に85mm（平年値159mm）、9月に58mm（平年値182mm）と、昭和58年の管理開始以来過去27年間において、今年はこの二つの月で最低記録となりました。
- ④ 一方、7月は227mm（平年値188mm）、8月は172mm（平年値127mm）と出水が多く、合計4回のゲート放流操作を行いました。
- ⑤ 特に8月1日の土曜日の朝には、時間雨量30mmを超えるゲリラ降雨が2時間連続でやってきて、ダムへの流入量は、朝9時に3 m³/s だったものが、12時には105 m³/s となり3時間で一気に増水しました。
- ⑥ ゲリラ降雨も日照りも幸い被害もなく無事に乗り切りましたが、一庫ダムや猪名川においては、豪雨と渇水が交互にやってくる気候の極端化を身近に感じた平成21年でした。



【平成21年と平年値の月別上流域平均降雨量グラフ】

8月1日、2日の前線による降雨



【8月1日の流域平均雨量とダムへの流入量と放流量グラフ】



【8月2日：多田大橋下流の猪名川（樹木が茂っているのは旧多田大橋）】